

# 久留米市内単位互換協定校

久留米大学 久留米工業大学 聖マリア学院大学 久留米工業高等専門学校

令和5年度 久留米市内単位互換協定校による

## 「共同講義」 開講のお知らせ

受講料  
無料

### テーマ「久留米における暮らしと未来

### ～SDGsの実現に向けて～



久留米市では、市内にある4校の大学等が単位互換協定を締結したことから、毎年多数の科目が公開され、学生の皆さんが他の大学等の講義を履修した場合に、所属する大学等の単位として認定ができるようになっております。この単位互換の一環として単位互換協定に参加している5校の大学等と久留米市が連携して、毎年一つのテーマを認定し、各校の個性や特色を活かした講座を開講する「共同講義」を実施しています。今年度もオンライン講座にて、市民公開の共同講義を以下のように開講します。様々な視点から学ぶことができる貴重な機会ですので、意欲と関心のある学生・市民の皆様の多数の参加をお待ちしています。

日時 2023年 10月3日(火)～11月24日(金) 13時00分アップロード

「Moodle」によるオンライン講座(オンデマンド形式)

主催 高等教育コンソーシアム久留米

定員 60名

共催 久留米学術研究都市づくり推進協議会

※申し込み期間：9月1日(金)～9月15日(金)

10/3 (火)		《基調講演》長岡技術科学大学/国際産学連携センター UEA/特任講師 勝身 麻美 SDGs達成度ランキング上位になるためには？	10/31 (火)	3	久留米工業大学 機械システム工学科 教授 白石 元 人間の感性を扱えるファジィ推論について
10/6 (金)	11	久留米大学 人間健康学部スポーツ医科学科 講師 松永 裕 運動や栄養摂取が身体に与える影響について	11/7 (火)	12	久留米工業大学 教育創造工学科 准教授 中村 美紗 久留米を染める 染色～体感する化学
10/10 (火)	3	久留米市 健康福祉部 地域福祉課 秋山 太 地域福祉って何？	11/10 (金)	5	久留米市 協働推進部 男女平等推進センター 主任主事 蓮尾 亮介 誰もが自分らしく生きるために ～ジェンダー平等を考えよう～
10/13 (金)	11	久留米市 市民文化部 文化財保護課 課長補佐 丸林 禎彦 「見つけ・守り・活かし・伝える」地域の歴史遺産	11/14 (火)	11	久留米大学 基盤教育研究センター 教授 中村 寛樹 SDGsと地域づくり・ソーシャルビジネス
10/17 (火)	11	久留米大学 基盤教育研究センター長 文学部 教授 吉田 洋一 久留米地域の医学と九州医学専門学校	11/17 (金)	15	久留米市 農政部 農政課 課長補佐 松延 清孝 久留米市の農業について ～ご存知ですか？ 久留米市は福岡県最大の農業都市です～
10/20 (金)	7	久留米工業高等専門学校 機械工学科 准教授 青野 雄太 原発老朽化—圧力容器の脆化—について	11/21 (火)	3	聖マリア学院大学 看護学部 教授 桃井 雅子 “親そして親子へと移行行くプロセス”を共に歩むこと ～看護・ケアの考察と探求
10/24 (火)	9	久留米工業高等専門学校 制御情報工学科 准教授 松島 宏典 高度道路交通システムの現状と将来展望	11/24 (金)	3	聖マリア学院大学 看護学部 講師 山口 智治 こどもの健やかな成長と発達を目指してこどもと大人ができること
10/27 (金)	9	有限責任監査法人トーマツ 地域未来創造室 福岡事務所 山下直人 株式会社ASO代表取締役 宮井 智史 地域の特色を踏まえた創業やコミュニティづくり	全15回:オンデマンド講義出席+レポート提出		

#### 申込・お問い合わせ先

高等教育コンソーシアム久留米  
サテライト・キャンパス 事務局  
久留米大学 地域連携センター 事務局  
TEL・FAX : 0942-43-4413

申し込みは下記URLよりお願いします

<https://forms.gle/NWksQZNAQ1VN8Kmy9>



開講日	講師	演題	講義内容
10/3 (火)	長岡技術科学大学 国際産学連携センター UEA/特任講師 勝身 麻美	SDGs達成度ランキング上位になるためには？	SDSNが発表した世界SDGs達成度ランキングによれば、日本は21位で、昨年と比較して2ランク下がっています。2030年を目標年と設定しているSDGsの達成に向けて、日本は何を課題として抱えているのでしょうか？そして、その課題を克服し、目標達成につなげるにはどうしたらよいのでしょうか？これらの問いについて、ランキングを通じて考えたいと思います。
10/6 (金)	久留米大学 講師 松永 裕	運動や栄養摂取が身体に与える影響について	健康の維持増進のためには、定期的な運動や適切な栄養摂取が推奨されています。これらはどのような仕組みで成り立っているのでしょうか？本講義では、運動や栄養摂取が身体に与える影響について紹介します。
10/10 (火)	久留米市 健康福祉部 地域福祉課 秋山 太	地域福祉って何？	高齢、障害、困窮、子育て。「福祉」という言葉で連想するさまざまなカテゴリーは、これまで「制度・サービス」によって支えられてきました。しかしまちを見渡すと、制度に当てはまらず苦しむ人や、いつもの生きづらさを抱えながら暮らしているという家庭が見られます。これは誰にでも起こり得ることなのです。これからの「支援制度」や「支え合い」はどのようなべきなのか。そして皆さんの暮らしとどう関係しているのか。久留米で今進んでいる「地域福祉」の取り組みから、一緒に考えてみましょう。
10/13 (金)	久留米市 市民文化部 文化財保護課 課長補佐 丸林禎彦	「見つけ・守り・活かし・伝える」地域の歴史遺産	私たちの郷土には、長い歴史の中で多くの人々の生活が営まれ、その痕跡として様々な遺跡や建造物、伝統行事、工芸技術などの歴史遺産が数多く残されています。身近にあるそれらの歴史遺産を、改めて見つめなおし、地域固有の資源として保存と活用を図っていくことにより、地域の魅力を向上し、歴史文化を後世につないでいく必要があります。筑後川遺産制度は、地域固有の歴史ストーリーを地域の人々の手で「見つけ、守り、活かし、伝える」ための新しい取り組みです。本講義では、事例を紹介しながら、地域の歴史遺産の活用と継承について考えます。
10/17 (火)	久留米大学 教授 吉田 洋一	久留米地域の医学と九州医学専門学校	1928（昭和3）年、県内初の医学専門学校である「九州医学専門学校」が久留米に誕生しました。本講義では、はじめに同地域の医学（教育も含む）について江戸時代を中心に概観し、近代以降同専門学校ができるまでの状況や、その後の「久留米大学」につながる経緯などを解説します。
10/20 (金)	久留米工業高等専門学校 准教授 青野 雄太	原発老朽化 —圧力容器の脆化—について	第211通常国会（令和5年）においてGX脱炭素電源法案が可決されました。改正される5つの法律のほとんどは原子力発電に関連しています。原発の運転期間は40年、最長60年とされてきましたが、今回の改正によってこの上限がなくなり60年を超えて使用することができます。本講義では、原発圧力容器の脆化を中心に、原発の老朽化について考えていきます。
10/24 (火)	久留米工業高等専門学校 准教授 松島 宏典	高度道路交通システムの現状と将来展望	情報通信技術を用いて「人」、「道路」、「車」などをつなぐ高度道路交通システム（ITS）は、交通事故削減や渋滞緩和など、安全で快適な移動の実現に寄与しています。本講義では、ITSの現状や課題をご紹介します、今後どのように発展していくとよいか、皆さんと一緒に考えていきます。
10/27 (金)	有限責任監査法人トーマツ 山下直人 株式会社ASO 宮井 智史	地域の特色を踏まえた創業やコミュニティづくり	スタートアップ企業とは何かを知り、新たな産業を創るうえで必要な同志のコミュニティや、これから求められる起業家精神（アントレプレナーシップ）とは何かを考えてみましょう。
10/31 (火)	久留米工業大学 教授 白石 元	人間の感性を扱えるファジィ推論について	現在AIが大きな話題となっています。AIはニューラルネットワークという技術が基本となっていますが、今回お話しするファジィもこれと同時代に現れたものです。ファジィは、人間の感性のような曖昧な表現を扱えるだけでなく、ニューラルネットワークに比べて学習回数が少なくても、ある程度、問題に適用できるという利点があります。この講義では簡単な実習も含めて概要を説明していきます。
11/7 (火)	久留米工業大学 准教授 中村 美紗	久留米を染める 染色～体感する化学	伝統的な久留米緋は藍染の糸を織って作られます。蓼藍などの植物から抽出した色素（インジゴ）を繊維に定着させる、染色って実は化学反応なんです。中でも藍染では、水に不溶なインジゴを可溶化する酸化還元反応を利用します。そのほか食品廃棄物、特定外来生物などを利用した草木染について紹介します。
11/10 (金)	久留米市 協働推進部 男女平等推進センター 主任主事 蓮尾 亮介	誰もが自分らしく生きるために～ジェンダー平等を考えよう～	日本は世界から見ても男女平等が進んでいないとされています。いったい何故でしょうか？そもそも男女共同参画社会とは何を指しているのでしょうか？SDGsの重点項目にもある「ジェンダー平等を実現しよう」、私たちに何ができるのか一緒に考えてみましょう。
11/14 (火)	久留米大学 教授 中村 寛樹	SDGsと地域づくり・ソーシャルビジネス	持続可能な開発目標（SDGs）の達成には、「地域」の視点と、社会課題を解決する事業をつくるという視点が必要不可欠です。本講義では、それら2つの視点からSDGsについて考えてみたいと思います。
11/17 (金)	久留米市 農政部農政課 課長補佐 松延 清孝	久留米市の農業について～ご存知ですか？久留米市は福岡県最大の農業都市です～	久留米市では、筑後川の豊かな水と肥沃な大地、温暖な気候のもと、様々な種類の農産物が生産されており、農業産出額は、県内1位と福岡県最大の農業都市です。久留米市の農業を知り、これからの農業について考えてみましょう。
11/21 (火)	聖マリア学院大学 教授 桃井 雅子	“親そして親子へと移行行くプロセス”を共に歩むこと～看護・ケアの考察と探求	妊娠・出産・産後のプロセスにおいて“親そして親子へと移行行く”とは？また、そのプロセスを共に歩ませていただく“看護者の使命・役割”とは？文献及び事例をもとに皆様方と考察し、より良いケアを探求いたしましょう。
11/24 (金)	聖マリア学院大学 講師 山口 智治	こどもの健やかな成長と発達を目指して子どもと大人ができること	こどもはいろんな人と関わり、いろんな環境の中で過ごしなが、成長・発達をします。その一方で、こどもが過ごす環境にはこどもにとって危険なことも存在します。そんなこどもが健やかに過ごすために、子どもと大人ができることについて、みなさんと一緒に考えたいと思います。

**申込期間** 9月1日（木）～9月16日（金） ※定員（60名）に達し次第締め切らせて頂きます

**出願手続** 学生の皆さんの履修や出願手続については、所属校の窓口にお問い合わせください。

★久留米大学 御井学舎事務部教務課 TEL：0942-44-2071 / FAX：0942-43-4413

★久留米工業大学 教務課 TEL：0942-22-2348 / FAX：0942-21-8770

★聖マリア学院大学 教務課 TEL：0942-35-7271 / FAX：0942-34-9125

★久留米工業高等専門学校 学生課 TEL：0942-35-9315 / FAX：0942-35-9319

連携校以外の方のお申し込みは、サテライト・キャンパス事務室（表面のQRコード）にてお願いします。

